仏 教 科 よ り（その二）
写経について

四天王寺東高等学校・四天王寺東中学校の生徒の皆さん、臨時休業中の生活はメリハリのついたものとなっていますか？何か悩みや不安、問題があれば遠慮無く学校の先生に知らせて下さいね。

さて、ズームでの朝礼での般若心経読誦の配信も始まりました。どうか毎朝心を込めて唱えて下さい。
仏教の授業や行事も残念ながらまだ行えていない状況ですが、各自の家で仏道修行として写経をしましょう。近日中に生徒の皆さんに新型コロナウイルスの収束の祈願の意味も込めた写経用紙を発送します。

写経は、印刷技術が発展していなかった時代に仏法を学ぶため、また教えを伝える為なされていましたが、写経すること自体に功徳があるとされることから、古来盛んに行われ、日本では奈良時代には国家事業として写経が行われたほどでした。印刷がいくらでも行うことが出来る現代であっても広く行われています。

大乗仏教の代表的な経典であり、聖徳太子が注釈書を著されたと伝えられる『法華経(妙法蓮華経)』に、「この経を受持し、読誦し、解説し、書写し、説の如く修行すれば、よく大願を成就す」とあるように、写経の目的は単に経典の流布にあるばかりではなく、成仏、善根、功徳の思想に基づいて行われるのです。

以下　写経の心得について説明します。

（準備する物）　１、写経用紙（配布したもの）
２、小筆（初心者は穂先が短く、硬いものが書きやすい）
３、墨、硯（小、中学の時書写の時間などで使用したものでよい）
※学校では筆ペンを使用していますが出来れば墨を擦り、筆を用いて写経を行って下さい。

（写経の手順）　１、姿勢を整える
・正座でも、椅子に座ってもよいが、きちんとした身なりで姿勢を正しくして行うこと。
・決して肘をついたり、机に寝ぞべったり、膝を立てて行ってはならない。
２、心を落ち着けて墨を擦る。
３、般若心経を唱える。
４、写経を始める。
・「一文字一仏」と思いながら礼拝の気持ちを大切にして行う。
５、書き終わったら「祈願文」と「回向文」を唱える。

祈願	天下泰平	疫病平癒	万民快楽	如意圓満

（回向文）

願わくは此の功徳を以て　普く一切に及ぼし　我等と衆生と皆倶に　仏道を成ぜん

願以此功徳　普及於一切　我等與衆生　皆倶成仏道